

CaMg



カルシウムは骨格や歯を形成しているため、成長期の子供だけが必要だと思われがちですが、身体の生理機能の調節にもなくてはならない重要な物質です。カルシウムの摂取が不足すると、骨のカルシウムが血中に溶け出してその不足を補い常に血中濃度を一定に保つという、**他の栄養素とは全く違う特別な仕組みを持っています**。すべての生命現象に不可欠な物質ですが、食べ物からのカルシウムの吸収率はたいへん低い上に、リンや糖質の過剰な摂取、ストレスによって体外に排出されてしまいます。現代の食生活では最も不足しがちな栄養素です。

こんな方にお勧めします

- ▶ 気分がふさがちな方
- ▶ 甘いもの好きな方
- ▶ ストレスの多いビジネスマン
- ▶ 発育期のお子様
- ▶ 妊娠、授乳中の女性
- ▶ 更年期を迎えた女性
- ▶ インスタント食品好きな方 など

カルシウムとマグネシウム

マグネシウムはカルシウムの吸収に不可欠な栄養素であるとともに、脳の働きや神経、筋肉に必要で、エネルギーを作り出すことにも関係しています。マグネシウムが不足すると、様々な症状が起こります。

神経系	うつ だるい しびれる 身体がチクチクする
骨格筋系	筋肉の痙攣 こむらがり
循環器系	不整脈 高血圧 動脈硬化
消化器系	食欲不振 消化不良 腹痛 下痢 便秘

Topics

～カルシウム・パラドックス～

カルシウムには、骨を形成する以外にも生命の維持に欠かせない様々な役割があります。そのため、血中濃度は限られた範囲で巧妙なメカニズムによってコントロールされています。経口摂取したカルシウムは、副甲状腺ホルモン（PTH）、カルシトニン（CT）、ビタミンDによって体内の出入りが調整されながら、小腸、腎臓、骨でそれぞれ吸収、再吸収されます。

カルシウムの濃度は、細胞内と細胞外で1:10,000の差があります。カルシウムの**摂取が不足すると**、細胞内にカルシウムが流入してこのバランスが崩れ、細胞内のカルシウムが**増える**という逆説（パラドックス）の現象が起こります。

細胞内 細胞外
1 : 10,000

原材料

還元麦芽糖、カゼインフォスフォペプチド(乳由来)、カラメル、羅漢果エキス、魚骨焼成カルシウム、酸化マグネシウム、セルロース、ステアリン酸カルシウム、クエン酸、菜種硬化油、抽出ビタミンE(酸化防止剤)、酸化ケイ素、ビタミンD₃(一部に大豆を含む)、グアーガム(糊料)

主要成分<1粒(500mg)中>

カルシウム56.25 mg
 マグネシウム56.25 mg
 ビタミンD₃ 80 IU
 CPP 12.75 mg

サプリメントハイライト

サプリメントCaMgは、胃酸に溶けやすい超微粒子粉の**魚骨由来のカルシウム**を使用しています。ドロマイドや卵殻、貝殻などを原材料とするカルシウム製剤と比較して吸収されやすいのが特徴です。このカルシウムとマグネシウムを、1:1の理想的なバランスで配合しました。カルシウムの吸収に役立つカゼインフォスフォペプチド(CPP)と、カルシウム及びマグネシウムの利用に必須であるビタミンD₃が強化されています。